調査に関する事前評価	H17

令和８年度　公共事業事前評価調書

社会資本整備重点計画

始まる-4
始まる-11

１．事業説明シート

事業名	道路事業［緊急道路整備改築事業（国補）］	事業箇所	甲府市上今井町～中小河原町	路線（川） 工区名	国道358号（万才橋東交差点外）	事業主体	山梨県 道路整備課

（１）事業の概要

①課題・背景

国道358号は、富士河口湖町を起点とし、甲府市中心部に至る幹線道路であり、甲府市街地と富士北麓地域の生活圏の連絡及び県内外の物流・観光振興に寄与するとともに、災害時における第一次緊急輸送道路の役割を担う重要な道路である。また、リニア開業後にはリニア駅へのアクセス道路としての機能を担う重要な路線である。

当該工区は、道路幅員は確保されているが、右折レーンがなく混合レーンになっていることにより、朝夕の通勤時間帯には交通が集中し著しい渋滞が発生しているため、道路改良を早期に進める必要がある。

②整備目標・効果　　※評価基準値

主要目標　　生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上

混雑時走行速度(km/h)	6.6	＜	30※
自動車交通量(台/12h)(平日)	18,252	＞	3,340※

副次目標　　歩行者等の安全性の確保(距離)

歩行者・自転車交通量(人台/12h)	534	＞	80※
自動車交通量(台/12h)(平日)	18,252	＞	3,340※
小中学校からの距離(km)	0.8	＜	概ね1
現況の歩道幅員(m)	3.5	＞	1.4※

副次効果　　主要渋滞ポイントの解消

良好な景観の創出

③目標達成の方法

甲府市上今井町～中小河原町におけるL=500mについて現道拡幅

車道幅員：15.0m（5車線）、歩道幅員：3.5m（両側）

（２）整備内容

①整備内容：　道路改良　L=500m　W=15.0(25.0)m

交差点改良 N=3箇所、電線共同溝　L=1,000m

②着手年度：　令和8年度　　③完成見込年度：　令和19年度　　④総事業費：　約3,400百万円

⑤年度別の整備内容　　B/C：　2.2

令和8～9年度	測量、設計	100百万円
令和10～13年度	用地取得	2,500百万円
令和14～19年度	道路改良・電線共同溝工事	800百万円

（３）既整備内容

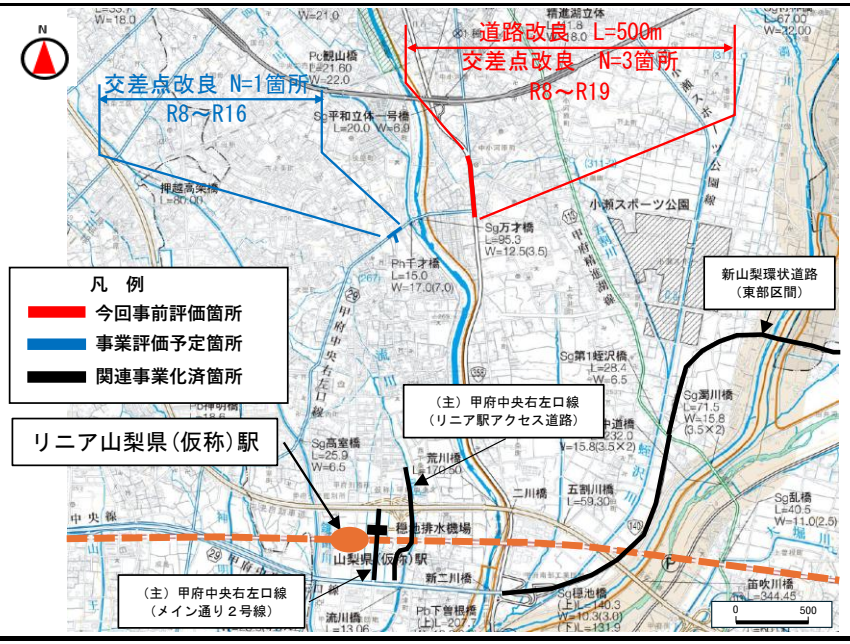
国道３５８号（遠光寺北交差点）（整備中）
道路改良L=350m、W=15.0(24.0)m
事業期間：H29～R11　事業費：約2,000百万円

（主）甲府中央右左口線（万才橋西交差点）（計画中）
交差点改良　N=1箇所、W=9.0(16.0)m
事業期間：R8～R16　事業費：約1,200百万円

（４）上位計画等の位置付け

「山梨県総合計画」（令和5年10月策定）
「山梨県社会資本整備重点計画（第五次）」（令和8年3月策定）
「山梨県強靭化計画」（令和6年3月改定）
「山梨県道路の整備に関するプログラム」（令和8年3月改定）
「リニアやまなしビジョン」（令和2年3月）
「第二次山梨県自転車活用推進計画」（令和5年4月）

（５）事業位置図等



２．評価シート

（１）公共関与の妥当性　　妥当

本路線は甲府中心部へ接続する主要幹線道路であり、社会的受益は大きく極めて公共性が高い。

（２）事業執行主体の妥当性　　妥当

本路線は、県管理国道であり道路法第12条の規定により県が実施すべき事業である。

（３）経済効率性　　B/C　　2.2 ＞ 1.0

総事業費	3,400 百万円	工期	R8 ～ R19	基準年	R8
経済効率性	費用	2,238 百万円	便益	4,856 百万円	
	建設費	2,190 百万円	走行時間短縮	3,451 百万円	
	維持管理費	48 百万円	走行経費減少	424 百万円	
			交通事故減少	35 百万円	
			その他	946 百万円	

※その他は、救急救命率向上便益・観光客増加便益・CO2排出量削減便益

（４）事業実施・規模の妥当性　　妥当

朝夕の通勤時間帯を中心に慢性的に発生している渋滞を解消するため、現況交差点を中心とした現道拡幅改良計画とした。

□同等施設等（計画を含む）の有無　　無

□必要整備内容とその根拠

整備区間は万才橋東交差点外において、所定の幅員がとれていない混合レーンが設置されている区間であり、交通のボトルネックを解消するのに必要な区間長とした。

（５）整備手法の有効性　　妥当

朝夕の通勤時間帯に交通が集中し、著しい渋滞を減少させるためには、道路を拡幅し直進2車線確保したうえで右折レーンを設置することが最も有効な整備手法である。

□他の整備手法の有無　　無

（６）環境負荷等への影響　　妥当

・本事業箇所は市街化された区域であり、自然環境への影響は少ない。
・本事業を実施することで渋滞が解消されるため、排気ガス中の大気汚染物質が軽減する。

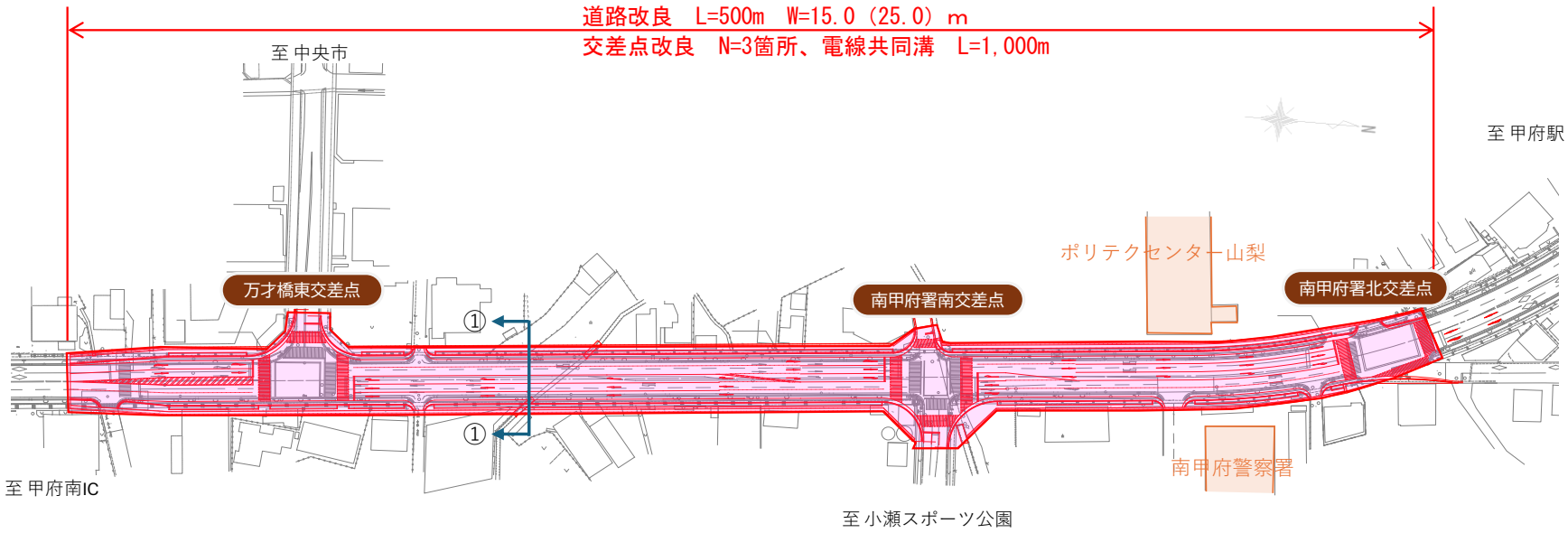
（７）事業計画の熟度　　妥当

令和2年3月に策定された「リニアやまなしビジョン」において、リニア駅と甲府駅を結ぶ主要幹線道路である国道358号を改良することとなっている。また、本事業箇所は主要渋滞箇所であり、解消に係る県民からの期待は高い。計画については、地元説明会を実施し概ね了解は得られており熟度は高い。

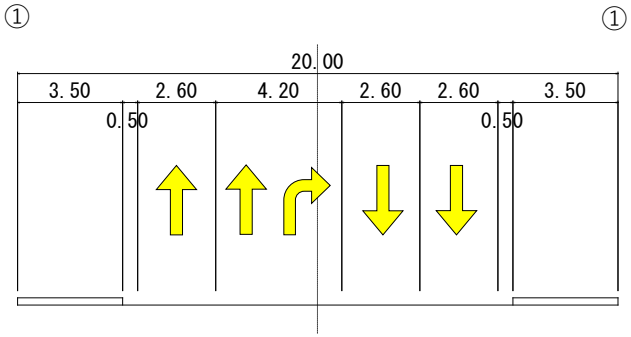
総合評価　　妥当

７項目全て妥当と評価されていることから、実施が妥当と判断する。

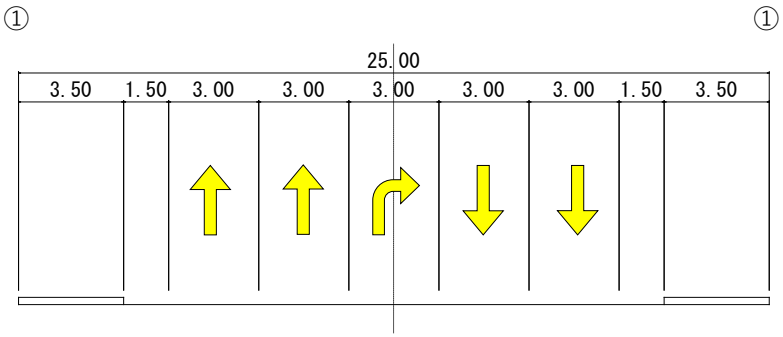
３．添付資料シート（１）



（整備前）



（整備後）



４．添付資料シート（２）



全景（南側より北側を臨む）至甲府南IC



①万才橋東交差点南進方向



②南甲府警察署南交差点北進方向